

塩分除去性能について

塩分管理

規定値（鋼道路橋防食便覧 2014）

50 mg/m² 以下

再塗装直前の素地表面の塩分量の上限値
これを超えると塗装後早期に塗膜欠陥が生じやすい。

各処理条件の最終塩分濃度比較。基準値 50mg/m²を下回ったのはレーザーブラストのみ。

実測で基準値をクリア



SNA-3000
（電気伝導率法）



現場での実測

処理条件	材端 (mg/m ²)	材中 (mg/m ²)	基準値測定
発錆状態（未処理）	341	264	✗ 超過
ケレン（カップブラシ）	250	200	✗ 超過
ケレン（ナイロングリッド）	140	130	✗ 超過
ケレン+過熱水蒸気	—	—	✗ 50未満に至らず
レーザーブラスト	7.8	5.7	✓ 基準値以下
グラインダ（#36）仕上げ面	—	12	✓ 基準値以下
屋外モックアップ（鉛直面）	1,755	—	✗ 極めて高い
浮錆1gあたり	609	—	✗ 高濃度

出典：YBHDグループ技報 NO.47,2018年1月

※ この品質管理基準はあくまで目安であり、実際の合否判定は仕様書・監督員の指示に従ってください。